

09/17・サウジ石油施設攻撃 米大統領「イランが関与」 「戦闘避けたい」強調< 1 >

- ドバイ原油4か月ぶり高値 先週末比14%上昇 安全資産(金・米国債)買われる
- ・中国工業生産さらに減速 8月4.4%増 リーマン以来の低水準 < 2 >

09/18・サウジ「月内に生産回復」 石油、攻撃前の水準に 続く緊迫なおリスク

- ・輸出9カ月連続減 8月8.2%減 中国向け落ち込む(12%減) < 3 >
- 米国向け4.4%減(自動車関連) 韓国向け9.4%減(食料品・半導体関連大幅減)
- ・中国、南太平洋に影響力 台湾断交のソロモンと国交樹立へ

09/19・米、0.25%追加利下げ(18日) 7月に続き 貿易戦争を警戒 < 4 >

- FRB(米連邦準備理事会)、景気先行きに迷い 「景気悪化ならさらに」議長
- ・日銀、金融緩和を維持 金融政策決定会合(19日) 物価「より注意が必要」
- ・韓国訪日客が半減 8月 全体も11カ月ぶり減少(閑空閉鎖以来)
- ・ファーウェイの5Gスマホ ドコモ、採用見送り
- ・イスラエル与党、過半数割れへ 右派苦戦 米の中東政策に影響も

09/20・消費者物価、伸び鈍化 8月0.5%上昇 2年ぶり低水準 < 5 >

- ・日韓、2国間協議へ 輸出管理WTO提訴受け
- ・中国、小幅利下げ 米に追随、貸出金利を0.05%
- ・米大統領補佐官(ボルトン氏後任)にオブライエン氏 政権歯止め役未知数
- ・NZ首相 5Gファーウェイ参入に中立 対中関係「強固で成熟」

09/21・家計金融資産0.1%減 6月末1860兆円 現預金は過去最高

- 前年同期比;株式9.7%減195兆円、投資信託3.7%減70兆円 現金・預金1.9%増991兆円
- ・独、温暖化対策6兆円 景気配慮、財政黒字は維持 < 6 >
- ・米軍、サウジに増派 施設攻撃受け、対イラン「防御措置」
- イラン中銀も制裁対象に トランプ氏、軍事行動には慎重
- ・5G中核特許(標準必須特許)、中国最多 来年大規模商用化めざす
- ・トランプ氏、ウクライナにバイデン氏調査で圧力と米メディア報道
- ・トランプ政権を米24州・地域が環境規制の権利剥奪の撤回求め提訴

09/22・米中貿易協議2カ月ぶり再開 農産品駆け引き激しく

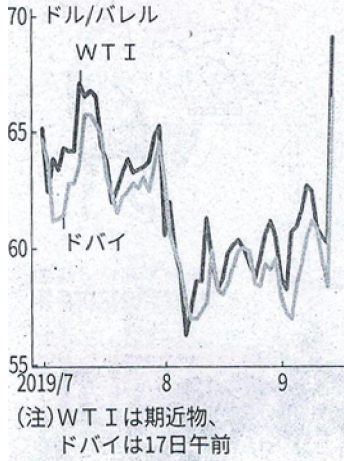
- 中国、米産大豆100万トン買入 トランプ氏「購入不十分」
- ・米通商代表部(USTR)が対中制裁関税の対象から400品目以上を除外

09/23・米小売店、3年で1万店減 「アマゾン・エフェクト」猛威

- 淘汰の波アパレルも 好景気でも閉鎖、広がる業種 日本の小売店舗も10年で2割減

<1>

原油相場は足元で急騰



<2>

8月の中国経済は全般に弱さが目立った

	7月		8月	
工業生産	4.8	↘	4.4	柱の自動車やスマホが減少
固定資産投資	5.7	↘	5.5	インフラ加速も製造業が低迷
小売売上高	7.6	↘	7.5	自動車販売の落ちこみ響く
輸出	3.3	↘	-1.0	米国向け減少でマイナス転落

(注) 前年同月比増減率%、固定資産投資は1月から当月までの累計値同士を比較。

<3>

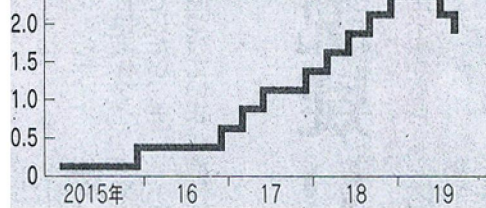
8月の国・地域別の貿易収支

(単位億円、カッコ内は前年同月比増減率%、▲は減少または赤字、アジアには中国含む。差引額は四捨五入の関係で一致しない場合がある)

	輸出額	輸入額	差引額
総額	61,409 (▲8.2)	62,772 (▲12.0)	▲1,363 (▲69.6)
米国	11,903 (▲4.4)	7,183 (▲9.2)	4,720 (▲3.8)
E U	7,092 (▲1.3)	7,880 (▲2.3)	▲787 (▲10.5)
アジア	33,388 (▲10.9)	28,954 (▲10.0)	4,433 (▲16.6)
中国	12,000 (▲12.1)	14,168 (▲8.5)	▲2,167 (▲17.7)
中東	1,819 (▲0.7)	7,250 (▲29.8)	▲5,431 (▲36.3)

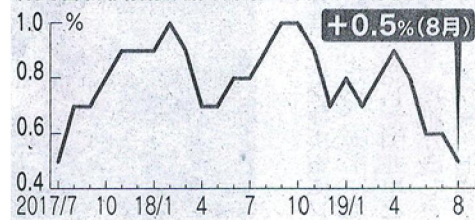
<4>

米政策金利

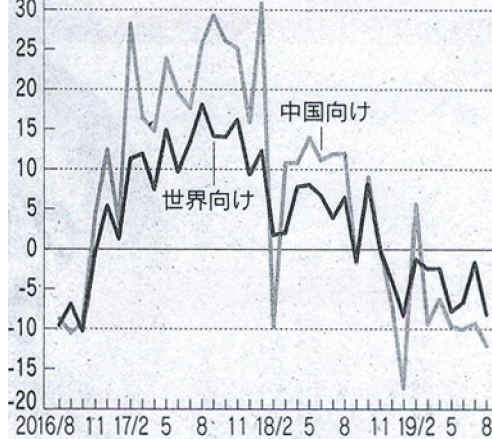


<5>

消費者物価指数(前年同月上昇率、生鮮食品を除く)



中国向けの輸出減が全体を押し下げ
(前年同月比増減率)



<6>

温暖化ガス削減案のポイント

排出量	30年に90年比55%減を実現
炭素値付け	排出量取引を導入。ガソリンなど高く
公共交通	長距離鉄道への付加価値税を軽減
住宅	旧型暖房の交換などを後押し